

## 令和 7 年度 第 2 回小林市総合教育会議要点録

- 1 日 時 令和 7 年 3 月 10 日（火） 14 時 00 分～15 時 00 分
- 2 場 所 小林市役所 本館 3 階 第 3 会議室
- 3 出席者 小林市長 宮原 義久  
教育長 大山 和彦  
教育委員 大部 蘭 智子、廣崎 真美、園田 貞哉、永井 良雄  
関係課 教育部長、学校教育課長、教育指導監、学校教育課主幹  
事務局 総合政策部長、企画政策課長

### 4 内容

| 発言者    | 内 容 （要 旨）                                                                                                                                                                                                               |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局    | （開会）事務局から開会あいさつ                                                                                                                                                                                                         |
| 市長     | （市長あいさつ）<br>小林市の教育行政にお力添えいただいている、教育長はじめ、教育委員の皆さんに感謝申し上げたい。<br>本日は、皆さんの忌憚のない意見をいただき、よりよい教育界になるよう意見交換をしていきたい。                                                                                                             |
| 企画政策課長 | 報告 小林市教育大綱について<br>策定等の効率化を図るとともに、市民にとってより分かりやすいものとするため、教育大綱と総合計画を一体的に策定し、総合計画の一部（「まなび」分野）をもって教育大綱とする。<br>計画期間は令和 8 年度から令和 11 年度の 4 年間（第 3 次小林市総合計画前期基本計画と同じ計画期間）である。                                                    |
| 教育部長   | 協議 今後の学校の在り方について<br>今後の学校の在り方についての意見交換会の状況や今後の方針を説明。                                                                                                                                                                    |
| 教育委員   | ・現時点で複式の学級もあり、児童生徒の資質能力を伸ばすためには、学校はある程度の規模を確保する必要がある。<br>・教職員との意見交換の中で、小規模校の先生方の負担についての声が上がっている。この方針で進めることで、学校規模が大きくなり、先生の負担軽減につながる。<br>・児童生徒にとって適正な規模で子どもたちを育てていくことは、集団生活の中で社会性を磨き、更なるコミュニケーション能力や学力の向上につながるのではないかと思う。 |
| 教育委員   | ・子どもが入学する学校が小規模校で友達ができるか心配で、その地域から引っ越そうとしている家庭もあると聞く。市外に引っ                                                                                                                                                              |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | <p>越すとなると、小林市の人口減少問題にも関係してくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会のアンケート結果を見ても、学校規模の適正化の必要性が感じ取れる。地域に関する様々な問題があると思うが、小林市から、できるだけ人を出さないためにも統合を進めていかなければならないと思う。</li> </ul>                                                                                              |
| 教育委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の自治体で、学校の統廃合を強引に進め、地域の反対を受け白紙になった自治体もあるが、小林市はしっかりした方針を策定して丁寧に進めていると感じる。</li> <li>・私の参加した説明会では、参加者が非常に多かった。保護者は賛同の意見が多く、中学校だけでなく小学校も統合してほしいという意見も出されていた。今後も地域や保護者への説明会があると思うが丁寧に進めていってほしい。</li> </ul>                                     |
| 市長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの数が少なくなると、部活動もできなくなるので、適正な学校規模にすることで、やりたい部活動ができる環境を整える方が子ども達としては幸せだと思う。ただ地域の方々の思いが詰まった学校でもあるので、丁寧に説明していかなければいけない。</li> <li>・通学手段については、コミュニティバス等もうまく活用することができないかも含めて検討したい。</li> <li>・反対する声もあると思うが、子ども達のことを優先に考えて総合的に判断してほしい。</li> </ul> |
| 教育委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が衰退するのではという声もあるが、統合することで他の校区の歴史に触れたり学ぶことができ、小林市全体のことを学ぶことができるようになる、いい機会になると思う。</li> </ul>                                                                                                                                               |
| 教育長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土芸能の伝承が大きな課題である。例えば、東方は伝統芸能を中学生が担っているので、小林中に統合したとしても、自分の校区の伝統文化として関わられるような授業づくりをしていかなければいけないと感じている。</li> </ul>                                                                                                                           |
| 市長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・串間市では中学校は一つに統合し、福島高校と中高一貫教育をしており、試験を受けずに福島高校に入る。これにより子ども達が地域に残ったことで、電車の利用者が減り、日南線が減便されたこともある。地域も守ることも大事だが、公共交通機関が不便になるなど新たな課題が出てきている。今後の学校の在り方については、これからも丁寧に進めていただきたい。</li> </ul>                                                         |
| 事務局  | (閉会)                                                                                                                                                                                                                                                                              |